

帶刀貞代 おびのぎ 評論家。明治二十七年六月七日島根縣生れ、平成一
年三月二十一日歿（一九四一・九〇）。別名織木貞代。松江高等家政學校卒。
大正十二年上京、織木氏と結婚（のち家を出る）、社会運動に入る。
昭和二年全國婦人同盟を結成、四年労働女塾を開設、その後共產青年
同盟に加はり、檢舉。九年出獄後、婦人公論に囑託として女性史研
究に従事。戦後新婦人の會に参加。

著書 『生活文化の方向』（合著・古谷綱武編、昭和十五年九月十七日
名取書店）、『これからの婦人』（昭和二十二年二月一日世界畫報
社）、『新女性全書・生活篇』（合著・岡澤一夫編、昭和二十二年十
一月十五日鎌倉文庫）、『働く婦人のために』（昭和二十四年十一月
十五日雄文社）、『製絲労働者の歴史』（合著、昭和二十九年十月二十
日岩波書店「岩波新書」）、『女性の結婚』（合著、昭和三十一年五
月二十一日河出書房「新しき女性」）、『日本の婦人―婦人運動の発
展とこれから』（昭和二十二年七月十七日岩波書店「岩波新書」）、
『戦後婦人運動史』（合著、昭和二十五年二月一日大月書店「戦
後運動史双書」）等。

